



区長 山口照美の



いよいよ大阪・関西万博開催まで1カ月半となり、JR弁天町駅がリニューアルオープンしました。港区が大きく変わるタイミングです。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマは身近なことで考えると「いのちが輝く=日々の幸せを感じながら生きている」ことではないかと私自身は考えます。実際、仕事の毎日の中でも、好きな音楽を聞い

たり、こどもの成長を感じたり、誰かの優しさに触れた時に「幸せだなあ」と感じています。今月の特集で紹介した「人生会議(ACP)」も、いのちを輝かせるための手段の1つです。みなさんの「いのちが輝いている状態」について、万博を機会に周りの人と対話してみてください。

同時に健康寿命を延ばすことも、人生100年時代に心がけたいことです。2020年のデータですが、港区民の平均健康寿命は「男性:77.66歳/女性:82.70歳」となっています。大阪市平均は「男性:79.2歳/女性:86.5歳」ですので、平均的に2~4年ほどは健康でない状況になっています。がん検診や特定健診で早期発見・早期治療に努め、健康寿命を延ばしていきましょう!



大阪文化館・天保山で先日、大阪春節祭が行われた際に見つけたフォトスポットで撮りました。映えます!

弁天町駅周辺のバリアフリーが進みます

大阪市では、弁天町地区交通バリアフリー基本構想を定めて、関係機関とともにどなたも円滑に移動しやすいまちづくりを進めています。このたび、弁天町駅や国道43号横断地下道のバリアフリー化が大きく推進されました。

JR弁天町駅の新駅舎 供用開始

JR西日本において、弁天町駅の改良工事を進めてきましたが、バリアフリーの改善に配慮した新駅舎や連絡通路等の整備が完了し、令和7年3月1日(土)から供用が開始されます。

- ・南北改札間に新駅舎を整備、新改札口とともにエレベーターやエスカレーターを新設。
※現在の南北改札は大阪・関西万博終了後閉鎖
- ・地下鉄弁天町駅東口改札と段差なく乗り換え可能な連絡通路(Osaka Metroとの共同事業)を新設し、連絡通路と接続する内回りホーム改札を設置。

国道43号横断地下道のエレベーター 供用開始

国土交通省では、弁天町駅前交差点北側で国道43号を横断する地下道(第二地下道)において、どなたにも円滑にご利用いただけるよう、エレベーターの設置工事を進めてきましたが、工事完了により、ご利用が可能となっております。

問合せ・JR弁天町駅の新駅舎関係: JR西日本 近畿統括本部 経営企画部(広報) ☎ 7661-3662

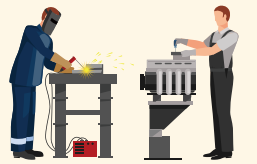
・国道43号横断地下道のエレベーター関係: 国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 西大阪維持出張所 ☎ 6553-8825

港区内の企業の皆さまへ

オープンファクトリー

参加企業募集中

大正区・港区・西淀川区の3区では、ものづくりの魅力を発信するため、一般市民向けに普段立ち入れない工場や施設を見学できる「オープンファクトリー」を定期的に開催中です。11月実施の港区内のイベントの見学先として協力いただける企業さまを募集中です。貴社の技術力を地域に伝える絶好の機会です。ご興味のある企業さまは、ぜひ、お問い合わせください。



現在登録いただいている港区の企業

SEIKO SEIMITSU

成光精密株式会社さま

MINAMI HAGURUMA

有限会社 南歯車製作所
有限会社 南歯車製作所さま

問合せ 総務課(総合政策) ☎ 6756-9683 FAX 6572-9511

Vol. 11

港区 万博スポットライト



2月2日 イラスト表彰&万博出展おひろめ会開催レポート

2月2日、港区民ホールで港区制100周年と大阪・関西万博開催を記念するイベントを開催しました。区内の小中学生を対象にした「わたしの未来・港区の未来」イラストコンクールの表彰式を行ったほか、開幕70日前となった大阪・関西万博の見どころを山口区長が紹介しました。さらに、出展企業・団体など2組のプレゼンテーションも行われ、期待とワクワク感を膨らませてくれました。2025年を特別な年としてみんなで盛り上げていきましょう!!

イラスト表彰式の様子



受賞者インタビューの様子



受賞作品の講評

大阪ヘルスケアパビリオン出展企業・団体によるプレゼン



日本生命保険相互会社の発表



Zipangプロジェクトの発表と実演

もと市岡商業高校(南側)の仮囲いの装飾が完成しました

もと市岡商業高校の仮囲いを大きなキャンバスとして活用し、小学生・中学生のみなさんが描いた「未来」を表現したイラストを紹介するとともに、「現在」の港区内の名所などを親しみやすく明るく賑やかなタッチで表しました。

